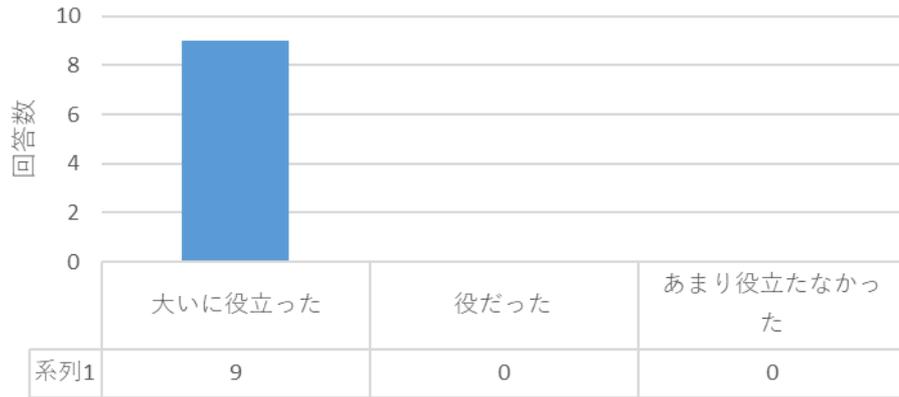


外部資金獲得支援を受けられた先生の声 (H29科研費 基盤研究(S)模擬ヒアリング)

Q1. ヒアリング選考を受ける上で、
模擬ヒアリングは役に立ちましたか？



H29科研費 基盤研究(S)ヒアリング選考に向け、経営企画オフィスによる模擬ヒアリングを利用された先生に、アンケートにお答えいただきました(回答数:9)。

Q2. 理由をお教えてください。

- ほぼ同じ質問が多かったので、すでに回答のための資料を準備していて、それを用いて説明した。
- 審査者としての見方を伝えて頂けた。
- 割に専門に近い先生が真剣にクリティカルなアドバイスをしてくれた。ヒアリングの**再構築**に役立った。
- 面接のポイント、時間配分、アドバイスが生きた。内容についても**作り直し**できた。
- 自身の思い込みを排除し、**プレゼン資料を改定**することが出来たため。
- 発表での力点の置き方について、とくに最初にアプローチの正統性と重要性を簡潔に述べておくこと、そして補足資料は減らしてメインスライドになるべく組み込むこと(たとえ瞬間しか見せなくても)、などの助言をいただき、その通りにした。
- 模擬ヒアリングの指摘により、研究代表者の実績を中心にまた申請分野の審査員やその分野での重要性を強調するように**大幅に変更**した。
- 10分で話をする事の難しさをあらためて感じました。他人のヒアリングへの評価はできるのに自分についてはわかりませんでした。